

## 令和 6 年度 長岡市立図書館の活動評価

長岡市立中央図書館



# 令和6年度 長岡市立図書館の活動評価について

## 1 評価の趣旨

図書館法第7条の3の規定に基づき、令和6年度の長岡市立図書館の活動について、次のとおり評価を実施した。評価は、指標に基づく内部評価と長岡市図書館協議会委員による外部評価から構成される。

## 2 評価の項目

### (1) 基本評価（数値目標に対する達成率評価）

数値目標に対する達成率によって評価を行う。

#### ① 利用状況

個人貸出冊数、予約件数、有効登録者数、実登録者数、郷土資料受入点数、窓口対応満足度、大活字本の所蔵冊数

（中央図書館入館者数、登録率、中央図書館開館日数、特別資料の転載等許可件数、新規購入冊数の割合は参考数値とする。）

#### ② 管理運営費

図書館費及びその内訳は参考数値とし、評価を行わない。

### (2) 重点事項評価

長岡市立図書館の運営方針における重点事項について、重点事業の実績をもとに評価を行う。ただし、項番6と7は内部評価のみとする。

#### 令和6年度重点事項

- 1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。
- 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。
- 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。
- 4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。
- 5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。
- 6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。
- 7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

### 3 評価の方法

#### (1) 図書館の内部評価

- ・項目ごとに数値目標と比較するなどして算定し、評価する。
- ・「基本評価」、「重点事項評価」とともに、AAからCまでの4段階の評価とする。

区 分	評価区分・内容
基本評価	AA … 数値目標を大きく上回った。(＋10%超) A … 数値目標を達成・上回った。(0～＋10%) B … 数値目標を下回った。(0未満～－10%) C … 数値目標を大きく下回った。(－10%超)
重点事項評価	AA … 優れた取組が多く、十分成果が上がっている。 A … 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている B … 一定の成果は上がっているが、工夫等が必要である。 C … 成果が上がっておらず、改善や見直しが必要である。

#### (2) 図書館協議会による評価

##### ○ 協議会の開催

- ・日 時 令和7年2月27日(木曜日)
- ・会 場 長岡市立中央図書館 美術センター

##### ○ 協議会の意見のとりまとめ

- ・上記協議会における各委員の意見を委員長がとりまとめ、図書館協議会による評価とする。

### 4 評価の概要

基本評価は、評価対象の7項目中、前年度はA評価が1項目、B評価が6項目であったが、今年度はA評価が2項目、B評価が4項目、C評価が1項目であった。

重点事項評価は、事業別評価の19項目すべてがA評価であった。

また、総括評価では、7項目すべてがA評価であったことから、全体としては、優れた取組がいくつかあり、成果が上がっているといえる。

## 5 図書館協議会意見

### (1) 「基本評価」について

### (2) 「重点事項評価」について

- 1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。
- 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。
- 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。
- 4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。
- 5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。
- 6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。
- 7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

# 【目次】

## I 基本評価について

1 利用状況	6
2 管理運営費	7

## II 重点事項評価について

### 1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

(1) 重点事業の事業別評価について	8
(2) 重点事業の総括評価について	9
(3) 個別事業の実施結果について	10
① 貴重資料の活用	10
② 郷土資料の充実	11
③ 古文書等の歴史文書の収集・保存・活用	12
④ 歴史公文書の収集・保存	14
⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用	14

### 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について	16
(2) 重点事業の総括評価について	16
(3) 個別事業の実施結果について	17
① 図書館蔵書の充実	17
② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実	18
③ 図書館の環境整備	19

### 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について	20
(2) 重点事業の総括評価について	21
(3) 個別事業の実施結果について	21
① 広報について	21
② 各種機関と連携した事業の実施	22
③ 地域における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	23

<b>4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。</b>	
（1）重点事業の事業別評価について	25
（2）重点事業の総括評価について	25
（3）個別事業の実施結果について	26
① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施	26
② 子ども向け図書館サービスの充実	27
③ 学校等への図書館サービスの実施	28
<b>5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。</b>	
（1）重点事業の事業別評価について	30
（2）重点事業の総括評価について	30
（3）個別事業の実施結果について	30
<b>6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。</b>	
（1）重点事業の事業別評価について	31
（2）重点事業の総括評価について	31
（3）個別事業の実施結果について	32
① 利用者アンケートの実施	32
② 友の会事業	33
<b>7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。</b>	
（1）重点事業の事業別評価について	34
（2）重点事業の総括評価について	34
（3）個別事業の実施結果について	35
① 外部研修・遠隔研修	35
② 職場内研修	36

# I 基本評価について

## 1 利用状況

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		達成率 (%)	評価
			達成目標値	年度末見込み		
入館者数（中央図書館・人）	236,454	246,593	—	227,142		参考 数値
個人貸出冊数(冊)	1,517,335	1,494,177	1,509,000	1,401,535	92.9	B
予約件数（件）	255,905	257,499	260,000	256,621	98.7	B
有効登録者数(人)	35,611	37,958	38,000	38,906	102.4	A
登録率（%）	13.70	14.79	—	15.24		参考 数値
実登録者数（人）	27,715	27,227	27,300	27,572	101.0	A
登録率（%）	10.67	10.61	—	10.81		参考 数値
中央図書館開館 日数	305	304	—	285		参考 数値
特別資料の転載等 許可件数	59	84	—	50		参考 数値
郷土資料受入点数	1,917	1,962	2,000	1,763	88.2	C
窓口対応満足度 （大変よい＋よい）%＜中央館のみ＞	87.2	83.1	86.5	83.6	96.6	B
大活字本の所蔵 冊数	6,398	6,380	6,400	6,210	97.0	B
新規購入冊数の 割合	2.9% 〔23,713冊〕 全冊数 816,163冊	7.2% 〔60,633冊〕	—	2.4% 〔20,073冊〕		参考 数値

\*有効登録者数は貸出カード有効期限内の登録者数

\*実登録者は有効登録者のうち年度内に1度以上貸出のあった登録者数

## 2 管理運営費（令和4、5年度は決算額、令和6年度は当初予算額）

（決算額：千円）

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
図書館費	409,902	371,409	416,663	
（うち施設管理経費）	273,564	253,514	291,522	
（うち資料費）	47,459	47,597	45,309	
（うち事業費）	88,879	70,298	79,832	

※米百俵プレイスミライエ長岡内 互尊文庫除く

## Ⅱ 重点事項評価について

1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

(1) 重点事業の事業別評価について

### ①貴重資料の活用

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重資料を定期的にエントランスで展示する。</li> <li>・貴重資料をホームページやフェイスブックで紹介する。</li> <li>・貴重資料に親しむ講座を開催する。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重資料をエントランスの展示やフェイスブック等で公開したほか、講座を開催し、多くの利用者から楽しんでいただくことができた。</li> </ul>

### ②郷土資料の充実

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種出版情報等から情報収集を行い、郷土資料を積極的に収集する。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市内の郷土資料を中心に、購入・寄贈併せて収集業務を行い、より一層の充実を図った。</li> </ul>

### ③古文書等の歴史文書の収集・保存・活用

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書等の歴史文書の寄贈・寄託を受け、市民の閲覧に供するため、順次公開する。</li> <li>・各種講座・講演会及び展示会の開催、長岡市史双書の刊行などを行う。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書等の歴史文書の適切な収集・整理・保存・活用に努め、市民に向けて目録を公開し、長岡市史双書の刊行や市民からの閲覧・調査相談などでの活用を進めることができた。</li> <li>・昨年度並みの利用者数を維持し、講演会や展示会など積極的に開催した。</li> </ul>

#### ④歴史公文書の収集・保存

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の非現用文書（廃棄文書）を歴史公文書（歴史的資料）として、収集・整理・保存のうえ、目録を作成する。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>庶務課等の関係各課と連携して、歴史公文書の適切な収集・整理・保存に努め、予定した対象資料を収集することができた。</li> </ul>

#### ⑤長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災歴史資料と中越大震災・東日本大震災等の災害復興関連資料の収集・整理・保存・活用を図る。</li> <li>国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）と、データの追加更新を行う。</li> <li>長岡市資料整理ボランティアの活動を支援する。</li> <li>刊行物の発行などを通して、県内外に情報発信を行う。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>長岡市資料整理ボランティアと市民協働で資料整理を行い、国立国会図書館東日本大震災アーカイブひなぎくへの追加掲載等の関係機関との連携を進めることができた。これにより、長岡市災害復興文庫の保存・活用及び災害対応の経験・教訓の全国発信につなげることができた。</li> </ul>

#### (2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴重資料を有効に展示活用するとともに、話題の本も含め幅広い郷土資料の収集に努めた。また、講座等の開催、刊行物の発行、長岡市資料整理ボランティアや関係機関・団体との連携などを通して、古文書等、歴史公文書、長岡市災害復興文庫の整理・保存・活用と情報発信を行うことができた。</li> </ul>

### (3) 個別事業の実施結果について

#### ① 貴重資料の活用

##### <目的・概要>

- ・貴重資料を定期的にエントランスで展示する。
- ・貴重資料をホームページやフェイスブックで紹介する。
- ・貴重資料に親しむ講座を開催する。

##### エントランス展示



▲12月 水島爾保布 生誕140周年

##### 図書館資料に親しむ講座



▲講座「くずし字を読んでみよう」

##### <実績>

#### 1. エントランス展示

貴重資料の展示をエントランスで9回（R7.1月末現在）行い、フェイスブックでも周知した。

- ① 4月 『枕草子春曙抄』（「図書館の窓から」183号より）1点
- ② 5月 版画 5点
- ③ 6月 雨龍 牧野忠精 4点
- ④ 7月 上古石器図巻（「図書館の窓から」184号より）1点
- ⑤ 8月 反町茂雄文庫にみる佐渡の風景 5点
- ⑥ 9月 松岡達英展（栃尾美術館）とコラボ展示 原画11点
- ⑦ 10月 高橋翠村 生誕170年 5点
- ⑧ 11月 『永花百人一首文十抄』ほか（「図書館の窓から」185号より）4点
- ⑨ 12・1月 水島爾保布 生誕140周年 9点

\*貴重資料アーカイブ「ながおかネット・ミュージアム」、新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」でも貴重資料を公開した。

#### 2. 貴重資料に親しむ講座の開催

図書館の貴重資料をテキストに、講座を2回開催した。

- ① 11月26日 超初心者向け講座「はじめてのくずし字『永花百人一首文十抄』」27人参加
- ② 12月3日 初心者向け講座「くずし字を読んでみよう『枕草子春曙抄』」24人参加

### 3. 貴重資料の主な貸出

- ・新潟県立歴史博物館夏季企画展「大・佐渡島」絵図2点
- ・河井継之助記念館（3回）…河井継之助関連資料3点
- ・良寛の里美術館企画展（4回）…良寛関係資料14点
- ・栃尾美術館「長岡の絵本作家 松岡達英展」…松岡達英原画107点

### <課題・今後の方向性>

- ・エントランス展示は、足を止めて見ていただけるよう、話題性のあるものや市民の関心が高いもの、珍しいものを織り交ぜ、充実した展示になるよう工夫をしていきたい。

## ② 郷土資料の充実

### <目的・概要>

- ・長岡市内の郷土資料を中心に、新潟県内の郷土資料について、より一層の充実を図る。
- ・新聞、雑誌、書店、SNSなどから、幅広く出版情報を収集する。
- ・市役所各課で発行する行政資料を収集する。
- ・古書目録等から情報を収集するなど、郷土資料を積極的に収集する。

### <実績>

	全館郷土資料蔵書数	前年度比増加冊数
令和3年度	103,953冊	1,284冊
令和4年度	104,003冊	50冊
令和5年度	105,330冊	1,327冊
令和6年度（見込み）	106,500冊	1,170冊

- ・閉校予定の小学校から、現在購入が難しい郷土資料を受け入れた。
- ・郷土コーナーの利用を促進するため、カウンター近くの目立つ場所にテーマコーナーを移動した。
- ・市内の資料館・美術館などの催しを紹介するため、パンフレット類を置くスペースを作った。

### <課題・今後の方向性>

- ・参考（辞書類など）・美術コーナーの整備を行い、書架が満杯の郷土コーナーを拡大し、利用しやすいコーナーづくりに努める。

### ③ 古文書等の歴史文書の収集・保存・活用

#### <目的・概要>

- ・ 古文書等の歴史文書の寄贈・寄託を受け、市民の閲覧に供するため順次公開する。
- ・ 郷土の歴史文書を守るため、歴史文書の取扱いについて相談を受け付ける。
- ・ 郷土長岡の歴史を知り、愛着をもってもらうため、歴史文書館が所蔵する郷土資料を活用し、各種講座・講演会及び展示会を開催し、長岡市史双書を刊行する。

#### 長岡市史双書No.63



▲ 3月末刊行のため、No.62 を掲載

#### 古文書解読講座「古文書のいろは」



#### <実績>

- ・ 古文書等の歴史文書の保存・公開に努めた。古文書等の歴史文書を活用し、講座・講演会及び展示会の開催、長岡市史双書の刊行を行い、郷土長岡の歴史を知る機会を市民に提供した。
- ・ 新たに公開した古文書等の歴史文書の寄贈件数 9件【昨年度6件】
- ・ 歴史文書の取扱い相談受付数 11件【昨年度11件】（うち訪問調査回数 9件【昨年度3件】）
- ・ 講座・講演会の開催（会場：歴史文書館） ※【】は昨年度

講座・講演会名	回数	参加人数
れきぶん講演会	2回	87【162】人
古文書解読講座「古文書のいろは」（初心者向け）	3回	108【120】人
古文書解読講座「古文書に見る長岡のすがた」（経験者向け）	4回	159【198】人
長岡市史双書を読む会	2回	34【85】人

- ・ 展示会の開催（会場：歴史文書館）

展示会名	回数	展示タイトル（開催月）
常設展	6回	「新たに公開した所蔵資料」（4月） 「三太郎、旅に出る」（5・6月） 「直江兼続の時代の検地帳」（6・7月） 「歴史文書館へ行ってみよう」（7・8月） 「新型コロナウイルス感染症と史料保存」（9・10月） 「青少年文化センターの思い出」（11～3月）
企画展	1回	長岡市災害復興文庫展 2024「中越大震災 20年と歴史文書館」（10・11月）

- ・長岡市史双書No.63『蔵王権現領安禅寺御用記（8） 日並記・日記・諸掛合留・諸願書留（文化12年）』 400部

#### <課題・今後の方向性>

- ・引き続き「れきぶん講演会」、各種講座や展示等を積極的に開催していく。ただし、今年度は広報方法の変更等により、講演会・講座の参加者確保に苦戦したため、今後は、各種事業の周知方法や興味関心を引き出す内容づくり等を十分検討していきたい。
- ・古文書等の歴史文書は、所有者の家の建て替えや代替わりで、個人での保存が難しく、そのまま寄贈となる例が多い。今後も、受け入れ件数の増加が見込まれることから、保管場所の確保と計画的な整理・公開をさらに進めていく必要がある。また、古文書解読講座等の主催行事の機会をとらえて、歴史文書を後世に伝えていくための意識付けを図る普及活動を行ってきたい。
- ・単独施設として開館したことに伴い、学校、コミュニティセンター及び市内の歴史関連施設との連携をさらに推進していきたい。

#### ④ 歴史公文書の収集・保存

##### <目的・概要>

- ・長岡市役所の非現用文書（廃棄文書）を歴史公文書（歴史的資料）として、収集・整理・保存する。
- ・災害復興関連の歴史公文書を長岡市災害復興文庫として整理する。

##### 歴史公文書の保存箱



##### 歴史公文書の整理作業



##### <実績>

- ・歴史公文書の目録件数 694件  
うち長岡市災害復興文庫の歴史公文書 25件
- ・保管場所：旧半蔵金小学校・旧種芋原小学校・浦瀬町倉庫・各支所など
- ・歴史公文書（特別閲覧対応）の問合せ件数 4件【前年度1件】

##### <課題・今後の方向性>

- ・歴史公文書の収集・保存に関する基準を再検討する。
- ・電子化された公文書の収集・保存方法を検討する。

#### ⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用

##### <目的・概要>

- ・災害と復興の経験・教訓を後世に伝える。
- ・被災歴史資料と中越大震災・東日本大震災等の災害復興関連資料の収集・整理・保存・活用を図る。
- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）と、データの追加更新を行う。
- ・長岡市資料整理ボランティアの活動を支援する。
- ・機関誌やホームページなどを通して、県内外に情報発信を行う。

### 長岡市資料整理ボランティア（古文書整理）



### 長岡市資料整理ボランティア（新聞資料整理）



#### <実績>

- 長岡市資料整理ボランティアは、延べ14回【昨年度8回】活動、延べ211人【昨年度94人】の参加があった。
- 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に写真データを提供した。

#### <課題・今後の方向性>

- 引き続き、講演会や展示会の開催等を通して、「長岡市災害復興文庫」を情報発信する取り組みを推進する。
- 県内外の文書館・図書館・博物館などとのネットワークを構築し、長岡市資料整理ボランティアや新潟歴史資料救済ネットワークなどにより一層の連携を図っていく。

## 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

### (1) 重点事業の事業別評価について

#### ①図書館蔵書の充実

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌等の収集、活用、保存に努める。</li> <li>小規模な地域図書館の蔵書の充実を図る。</li> <li>テーマ展示等で蔵書の活用を図る。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館や、地域館の蔵書について、計画的に収集・整備し、活用することができた。</li> </ul>

#### ②レファレンスサービス（調べもの相談）の充実

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>寄せられた照会に対応できる蔵書を備えるとともに、適切な資料を検索する技術を持つ職員の育成に努めた。</li> </ul>

#### ③図書館の環境整備

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・快適にご利用いただけるよう施設環境を整備する。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化により修繕箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけ整備を行った。</li> </ul>

### (2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに応じた資料の充実や施設改修により、図書館サービス向上に取り組んだ。</li> </ul>	

### (3) 個別事業の実施結果について

#### ① 図書館蔵書の充実

##### <目的・概要>

- ・市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌等の収集、活用、保存に努める。
- ・テーマ展示等で蔵書の活用を図る。

##### <実績>

##### コーナーの充実



▲科学博物館コラボ展示「日本遺産&小林達雄コレクション」(火焰土器レプリカも展示)



▲新潟県立歴史博物館コラボ展示「大・佐渡島」

- ・郷土のテーマコーナーを2カ所設置し、他施設とのコラボや、県内のイベントや出来事などにあわせ、資料の紹介に努めた。関連の未所蔵資料については、購入や取り寄せなども行った。

##### 【郷土コーナーでの図書展示】

- 4月 「ふるさとのまなざし」
- 5月 「山」
- 6月 「6月8日は長岡市立図書館開館記念日」
- 7月 「7.13水害 あれから20年」、新潟県立歴史博物館コラボ展示「大・佐渡島」
- 9月 「大地の芸術祭」、「生誕160年 吉田東伍」
- 10月 「新潟県のヒスイ」
- 11月 「新潟の鉄道」、長岡市立科学博物館コラボ展示「小林達雄コレクション」「日本遺産」
- 12月 長岡市馬高縄文館コラボ展示「馬高式土器から柝倉式土器へ」
- 1月 「大河べらぼう 江戸時代の出版文化」、新潟県立近代美術館コラボ展示「皇室の名宝と新潟」

##### <課題・今後の方針>

- ・限られた予算の中で、後世に残すべき郷土資料の収集・保存に努める。
- ・テーマ展示など、紹介方法などを工夫しながら資料の有効活用にあつめたい。

## ② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実

＜目的・概要＞	
<p>・図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。</p>	
豊富な参考図書	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス
 <p>▲様々なレファレンスに応えるため、各種辞典、事典、白書等を備えている</p>	 <p>▲国会図書館が所蔵する絶版資料を検索・閲覧できるインターネットサービスを利用し、調査の幅が広がる</p>
＜実績＞	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は43件のレファレンスを受け付けた（令和5年度：83件）。</li> <li>・当館所蔵資料のほか、外部データベース、県立図書館郷土人物データベース、国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスなど様々なレファレンスツールを活用して調査した。また、市外図書館等関係機関に調査協力を依頼して回答に努めた。</li> <li>・県外からの問い合わせが20件あり、全体の約2分の1を占めている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>例）・長岡工業学校という学校が戦前に存在したかどうか。学校一覧と同窓会誌を閲覧したい。                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧与板藩の士族、新居恒蔵の三男・新居三郎についての資料はないか。</li> <li>・昭和28年前後の長岡市の大企業上位10社程度を知りたい。</li> <li>・淡水魚のフナ（鮒）の郷土料理に関連した資料を探している（レシピも含めて）</li> <li>・栃尾の南部神社と境内に置かれている狛猫について、記載がある資料を教えてください。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・県内図書館新任職員研修等でレファレンス研修を受講（3人参加）</li> <li>・県立図書館訪問研修で、郷土レファレンス研修（3人参加）</li> <li>・パスファインダー（調べ方案内）の改訂（1件）</li> <li>・国立国会図書館レファレンス研修（4人参加）</li> </ul>	
＜課題・今後の方針＞	
<p>・レファレンスについては、郷土に関する問い合わせが多いことから、引き続き郷土資料の収集に努め、職員同士の情報共有や研修を通じてスキルアップを図れるようにしていきたい。また、利用者自らが必要な情報を得ることができるよう、資料の配置や館内表示、ホームページ等を見やすく工夫するなどし、使いやすい図書館を目指したい。</p>	

### ③ 図書館の環境整備

#### <目的・概要>

- ・図書館を安全・快適にご利用いただけるよう施設の改修等を行う。

#### <実績>

- ・日常の点検や利用者のご意見等から必要なものを選び、優先順位を付け整備・改修を行った。

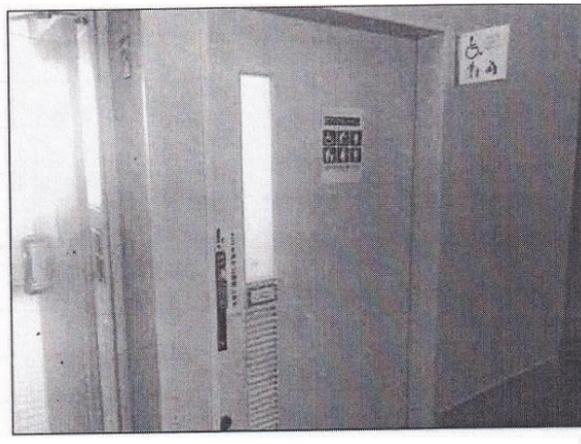
- 中央図書館
  - ・トイレ等改修工事（令和7年3月完成予定）
  - ・消防・防火設備修繕 等

#### ○地域館

- ・北地域図書館
  - ・1階男子・多目的トイレウオシュレット設置
  - ・多目的トイレ自動ドア取替修繕



▲北地域図書館ウオシュレット設置



▲北地域図書館多目的トイレ自動ドア取替修繕

#### <課題・今後の方針>

- ・図書館利用者が安心、安全に利用できるよう、限られた予算の中で優先順位をつけ、順次修繕していく。

### 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

#### (1) 重点事業の事業別評価について

##### ① 広報について

事業概要	・長岡市や図書館ホームページ、広報誌、SNS を利用し、積極的な広報を行う。	
評価	A	評価理由
		・ホームページや Facebook への投稿回数は昨年度とほぼ同等に行い、図書館PR動画をホームページなどで公開し、図書館の認知度向上を図った。

##### ② 各種機関と連携した事業の実施

事業概要	・他の施設と連携して事業を行うことで、PR の相乗効果を狙う。	
評価	A	評価理由
		・他の機関とのコラボ展示を行うことで、講演会チラシに図書館の関連図書展示コーナーの情報掲載等、互いの事業をPRすることで、利用促進と周知を図った。米百俵号の特別巡回を実施し、図書館外での活動を強化することにより、新たな利用者層の獲得を図りたい。

##### ③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色資料に関連した、または地域の施設・学校などと連携した事業を継続し実施する。</li> <li>・調べる学習コンクールなど図書館資料を活用した事業を展開する。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域図書館が持つ特色資料の関連事業のほか、近隣の学校と連携した事業を計画し、工夫して実施した。</li> <li>・「図書館を使った調べる学習コンクール」作品づくりのきっかけになるよう低学年にも学習帳を作成し、低学年と高学年に分けて事前説明会を行った。総作品数は昨年度と比較して減少したが、参加校が増加した。</li> </ul>

## (2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報や事業については、投稿回数は昨年度とほぼ同等に行い、広報活動や館外活動を通して、図書館の認知度向上を図ることができた。</li> <li>・ 地域図書館においては、新たな広報手段のとして SNS を開始した。また、SNSを始めたことを周知するイベントを開催し、季節ごとの地域館のイベントを一覧でご覧いただける広報誌を発行した。</li> </ul>

## (3) 個別事業の実施結果について

### ① 広報について

<目的・概要>	
<p>(1) 図書館ホームページ、Facebook など広く広報を行い、来館者の増加を図る。</p> <p>(2) テレビ・ラジオなどへの出演や新聞・雑誌への寄稿により図書館のPR 活動を行う。</p>	
様々な媒体で図書館をPR	図書館PR動画を公開
 <p>▲図書館フェイスブック</p>  <p>▲市公式LINE</p>  <p>▲図書館ホームページ</p>	 <p>▲夜の図書館に迷い込んだ大学生が、謎の指令を解きながら将来の夢を見つけるハートフル・ストーリー</p>
<実績>	
<p>(1) 年代別の図書館報を発行した。</p> <p>一般向け「図書館の窓から」、中高生向け「WE RE YOUNG-J IN」 児童向け「としょかんくん」</p> <p>(2) 図書館ホームページ、長岡市ホームページ、Facebook、LINE、こめぷらなどで広報を行った。</p> <p>① 図書館ホームページ更新回数 186回 (R6.4.1~12.31)</p> <p>② Facebook 更新回数 126回 (R6.4.1~12.31)</p> <p>リーチ数最大：【長岡図書館友の会 映画会のご案内】504件</p> <p>(3) 報道リリースを行い、取材や周知の依頼を行う。また、PR動画を公開し、広報活動を広げた。</p> <p>図書館PR動画公開：図書館ミステリー動画「大切なものは?」：3,003回再生(総再生回数)</p>	

## <課題・今後の方針>

- ・情報発信回数を増やし、内容を工夫することで、来館者の増加につなげる。
- ・新聞・ラジオ等マスコミに露出することで、図書館の認知度向上を図る。

## ② 各種機関と連携した事業の実施

### <目的・概要>

- (1) 他の行政機関等が実施する企画と連携し、お互いの利用の相乗効果を図る。
- (2) 図書館外で、図書館の利用促進を目的とした事業やPR活動を行う。

#### 「お気に入りの1冊に投票しよう！」



▲実際に選挙で使用する投票箱で「よもよもボックス」からの人気投票を行った

#### 万代島美術館コラボ「化石ハンター展」



▲常設の児童書の「恐竜コーナー」とは異なる分類から化石発掘や恐竜に関する絵本や読み物などを選出し、展示を行った

### <実績>

#### (1) 連携展示

##### ○図書展示（主なもの）

- ・植物×鳥×ケモノなぜ集める？どう守る？（6・7月） ・食育月間（6・7月）
- ・万代島美術館「化石ハンター展」（7・8月） ・栃尾美術館「星野道夫展」（7月）
- ・こころの健康 癒し系（9月） ・認知症ブックフェア 新薬と予防（9月）
- ・まちゼミ（9月） ・栃尾美術館「松岡達英展」（9～11月） ・予防のための健診と健康経営（10月） ・万代島美術館「古代エジプト展」（11・12月） ・障害者週間・読書バリアフリー（12月） ・POPで紹介 みんなのおススメ本！（12～2月） ・万代島美術館「谷川俊太郎展」（2月） ・自殺予防（3月予定） ・なぜトキは日本から姿を消したのか（3月予定）

##### ○企画展示

- ・お気に入りの一冊に投票しよう！（模擬投票用紙と選挙用投票箱を利用した投票）
- ・見えにくさ体験メガネ（読書バリアフリー・障害者週間展示）

#### (2) 図書館外での活動

- ・米百俵号の特別巡回（すこやか・ともしびまつり、米百俵まつり、とちびまつり、聾学校・総合支援学校訪問）

### <課題・今後の方針>

- ・他の機関と連携することで、講演会チラシに図書館の情報掲載等、互いの事業をPRすることができた。また、米百俵号及び米百俵号ミニを活用したイベント等への巡回を通して、図書館や読書活動の普及に努めた。今後も連携を継続し、新たな利用者層の獲得を図りたい。

### ③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

#### <目的・概要>

- ・特色資料に関連した、または地域の団体や学校などと連携した事業を継続し実施するほか、図書館資料を活用した事業を展開する。

#### ○特色資料に関連した、または地域の団体や学校などと連携した事業

##### まち歩き栃尾散策



▲秋葉公園に銅像の由来や謙信公が難を逃れた「隠れ岩」について解説いただいた（栃尾地域図書館）。

##### 迎春ミニ凧展示



▲応募いただいた用紙をミニ凧に作成。館内に展示し、華やかに彩った（中之島地域図書館）。

#### <実績>

- 栃尾地域図書館
  - ・まち歩き栃尾散策（10月26日）
  - ・栃高生（とちこうせい）の本棚（準備：7月10日～9月20日、展示：9月20日～11月20日）
  - ・栃尾美術館のイベントにあわせた関連図書のコナー展示  
「日本刀の美V、写真展 星野道夫」、「長岡の絵本作家 松岡達英展」  
（松岡達英展開催時は、地域図書館全館でコナー展示やおはなし会を開催）
- 中之島地域図書館
  - ・大凧合戦ポスター展（5月18日～6月5日）
  - ・昆虫標本展示（8月1日～30日）
  - ・迎春ミニ凧展示（令和7年1月4日～30日）
- 南地域図書館
  - ・醸造の町 撰田屋歴史さんぽ（9月22日）

#### <課題・今後の方針>

学校や図書館周辺の施設と連携を取るなどして、今後も図書館資料を活用した事業を展開していく。

○図書館資料を活用した事業（図書館を使った調べる学習コンクール in 長岡）

事前説明会	表彰式の様子
 <p>▲会場を北地域図書館と中央図書館にしほり、低学年と高学年に回を分けて事前説明会を開催。学習帳も高学年用とは別に低学年用を用意し、作品づくりの取り組みのサポートとなった。</p>	 <p>▲中央図書館講座室を会場に表彰式を開催。上位入賞者に直接賞状や楯を渡した。</p>

<実績>

○事前説明会

北地域図書館会場 7月14日 低学年4人、高学年4人  
 中央図書館会場 7月15日 低学年6人、高学年4人  
 7月28日 低学年5人、高学年1人

○第13回 図書館を使った調べる学習コンクール in 長岡

- ・作品募集（9月1日～10月8日）  
 市内30校の児童から108作品の応募があった（昨年度：25校119作品）。
- ・審査会（10月30日）  
 審査員：長岡市三島郡小学校学校図書館協議会委員の3名の校長先生と中央図書館長  
 低学年・中学年・高学年ごとに最優秀賞と優秀賞を各1作品選出。  
 全学年の作品から審査員特別賞を1作品、中央図書館特別賞1作品選出。
- ・表彰式（12月8日）  
 受賞した子どもたちが全員出席し、表彰状と表彰楯を贈呈した。  
 全国コンクールに最優秀賞の低学年と中学年の作品2点を出品し、低学年、中学年ともに佳作を受賞した。

<課題・今後の方針>

- ・審査会の開始時間の変更や表彰式での一連の流れの再確認など、今年度から新たに組み込んだことも含めて、改善していきたい。
- ・事前説明会で低学年用の学習帳を初めて作成し使用したが、アンケートで少し分かりにくいのご意見があった。より理解しやすい内容にするために、低学年用、高学年用ともに改訂作業に取り組みたい。
- ・引き続き、学校にも働き掛けることで、応募数を増やし、全国コンクールへ推薦する数を増やしたい。

#### 4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。

##### (1) 重点事業の事業別評価について

###### ① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年3月に策定した「第3次長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え、読書機会の増進を図るための事業として実施する。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせボランティアや学校関係者の活動に役立つ講座を実施し、地域全体で子ども読書活動を推進する支援を行うことができた。</li> <li>ベビーパック2さいを作成、おすすめ本パックの年代区分を追加し、年齢にあわせた本の紹介を行うことができるよう拡充を行った。</li> </ul>

###### ② 子ども向け図書館サービスの充実

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールデンウィークや夏休み等を利用して、子どもたちが読書を始めるきっかけとなり、図書館や本に親しむことができる行事を行う。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>恒例の「サマーチャレンジ」を開催し、図書館や本に親しむきっかけを提供し、参加人数は上昇した。</li> <li>今年度から中学生一日図書館員を開催した。</li> </ul>

###### ③ 学校等への図書館サービスの実施

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館から遠い地域にある小学校への米百俵号の巡回や、学級文庫として活用してもらう学校配本、授業用の本の貸出など、学校図書館の蔵書を補う。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校や児童館等に図書を設置、プラットフォーム「こめぷら」等で広報することで、読書環境の整備を行った。</li> </ul>

##### (2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども読書推進活動の充実を図るため、内容に工夫を凝らして、各種イベント等の実施に取り組むことができた。</li> </ul>

### (3) 個別事業の実施結果について

#### ① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施

##### <目的・概要>

令和5年3月に策定した「第3次長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え、読書機会の増進を図るための事業として実施する。多くの事業を展開する中で、今年度は次の事業を取り上げ評価する。

1. 初心者向け読み聞かせ講座・読み聞かせボランティア養成講座の実施
2. 「長岡の子ども 100 冊」活用事業（継続）

##### 読み聞かせボランティア養成講座



▲講座の様子

##### よもよもボックス



▲実際の投票箱を使った  
選挙体験

##### <実績>

#### 1 ■読み聞かせボランティア養成講座

##### 初心者向け読み聞かせ講座

日 時：令和6年6月28日（金）、7月5日（金）・12日（金）午前10時30分～正午  
内 容：（1回目）絵本の選び方や読み聞かせの大切さなどについてを指導。  
（2回目）実践編として本を実際に使った演習を行う。  
（3回目）赤ちゃん絵本のかかわりやブックスタートについて学ぶ。

講 師：中央図書館司書職員

#### 2 「長岡の子ども 100 冊」活用事業（継続）

令和3年度末に選定した、乳幼児から中学生まで年代別おすすめ本リスト「よもよもボックス」（長岡の子ども 100 冊）について、昨年度に引き続き、周知・活用事業に取り組んだ。

- ① ブックリストを市内小中学生に配布
- ② 市内全館でよもよもボックス常設コーナーを設置
- ③ 本の人気投票「第3回 よもよも大賞」の実施

8月6日～25日に「選管コラボ企画 実際の投票箱でお気に入りの一冊に投票しよう！」を実施。投票用紙に記入して、実際に使う投票箱を使用して選挙の体験ができる企画を用意。88票の投票があった。

- ④ 団体向けセット貸出「よもよもBOX」の実施

⑤背表紙ラベルを配布し、学校・保育園などでの活用を支援

⑥各学校へのブックトークでよもよもボックスを紹介

よもよもボックスを活用することで、年齢に応じた本の紹介を行うことができた。また、保育園・学校等の希望に応じて、よもよもボックスセットの貸出・運搬や、団体所有の本に貼るラベルを配布。施設内でのよもよもボックスコーナー設置を支援し、読書環境の整備に寄与することができた。

### <課題・今後の方針>

- ・ボランティアの育成・拡充を継続的に行う必要がある。
- ・子どもの年齢に応じた本の紹介を引き続き行いたい。来館者だけを対象とするのではなく、園や学校を通じて、より大勢の子どもたちや子どもと関わる大人に対し、働き掛けを行っていきたい。

## ② 子ども向け図書館サービスの充実

### <目的・概要>

1. ゴールデンウィークや夏休みを利用し、全館共通行事を行う。

#### ■子ども一日図書館員、中学生一日図書館員

仕事を体験しながら図書館に親しんでもらう。中学生一日図書館員は今年度から実施。

#### ■としょかんサマーチャレンジ

「熱中！感動！夢づくり教育事業」の一つとして、乳幼児から小学生を対象に大規模に実施。夏休みに合わせ、期間中に本を30冊読むことを目的とする「めざせ30冊コース」と、図書館に親しむことを目的とする「チャレンジコース」の2種類を用意。それぞれの達成者には賞状や記念品をプレゼントする。読む本は、市内図書館ほか学校図書館や家庭の本でも可能で、家庭での読書が主となるもの。

#### ■図書館版☆謎解きゲーム

謎解きゲームを実施することで、図書館の利用を図る。小・中・高校生を対象に実施。

#### ■としょかんくん

長岡市内の全小学生に配布。図書館の事業や本などを紹介する。

### 子ども一日図書館員



▲本の整理に挑戦

### としょかんサマーチャレンジ



▲今年度は「めざせ30冊コース」  
「としょかん de ビンゴ！」を開催

## <実績>

### ■子ども一日図書館員

「こどもの読書週間」に関連し、5月4・5・11・12日に実施。館内見学、貸出返却、本のコーティング体験などを行った。参加人数：34人（全館）

### ■中学生一日図書館員

今年度より開催。8月6日に実施。館内見学、貸出返却、POP作成などを行った。

参加人数：13人

### ■としょかんサマーチャレンジ期間：夏休み（7月13日～9月1日）

「めざせ30冊コース」30冊達成：302人

「チャレンジコース☆としょかん de ビンゴ！」998人

夏休みの恒例行事として定着し、今年度も子どもたちが熱心に取り組む姿が見られ、読書や課題を解決した達成感を得ることができた。

### ■図書館版☆謎解きゲーム あなたも図書館ミステリー！！

「秋の読書週間」に合わせ実施していたが、今年度は学生が参加しやすいよう令和7年3月18日～5月6日に実施。

### ■としょかんくん

令和6年度は「としょかんくん」の発行40周年。記念企画として「としょかんくん40周年記念シールプレゼント企画」を実施。配布枚数：243枚

## <課題・今後の方針>

- ・子どもたちと本をつなぐための子ども向け行事が、その後の継続的な図書館利用につながるよう、工夫を凝らして継続していくことが必要。

### ③ 学校等への図書館サービスの実施

## <目的・概要>

- ・読書週間等に小学校を訪問し、年代に合ったおすすめの本を紹介するブックトークを実施。
- ・図書館から遠い地域の小学校に米百俵号で巡回し、本の貸出や読み聞かせを実施。
- ・希望する小・中学校・児童館に学級文庫として使える本を貸出・配送。
- ・児童発達支援事業所および放課後等デイサービス事業所を対象に、図書の貸出・配送を行う「児童書セット貸出」を実施。
- ・「米百俵号ブックカーニバル」では、夏休み期間に児童館・児童クラブを訪問し本を貸出。
- ・「授業用図書セット貸出」小・中学校で授業に使用する本を40冊まで2週間貸出。



▲様々な特性を持つ子どもたちを支援する施設へ児童書を配達（放課後等デイサービスへの貸出）



▲夏休み期間中、米百俵号から本を選ぶ子どもたち（米百俵号ブックカーニバル）

### <実績>

【ブックトーク】 小学校 公演数：16回 参加者数：964人

【米百俵号による巡回】 小学校 訪問数：26校 回数：年10回ずつ

【学校配本】 聾学校幼（1校）12箱、小学校（50校）1,150箱 中学校（7校）56箱  
高等総合支援学校（1校）38箱

【児童書セット貸出】 児童館（29館）123箱

【放課後等デイサービス事業所】（7施設）27箱

【米百俵号ブックカーニバル】 夏休み中のイベントとして児童館や児童クラブから毎年好評  
（今年度実績） 8回実施 参加者数：230人 貸出冊数：505冊

（昨年度実績） 8回実施 参加者数：251人 貸出冊数：526冊

【授業用図書セット貸出】 81件（全館分）

### <課題・今後の方針>

- 米百俵号での訪問や学校でのブックトーク・おはなし会等を行いながら、今後も事業を継続したい。  
また、米百俵号ミニを活用した事業を行いたい。

## 5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。

### (1) 重点事業の事業別評価について

#### ① 資料面、運営面の協力

事業概要	・「新しいスタイルの図書館」を掲げる互尊文庫の運営方針を尊重し、市内図書館と一緒に連携する。	
評価	A	評価理由
		・互いに協力し合う体制をつくり、互尊文庫の運営に協力した。

### (2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・互いに協力し合う体制をつくり、資料提供と運営面での協力を行った。

### (3) 個別事業の実施結果について

#### <目的・概要>

- ・テーマ展示等の資料提供、図書館情報ネットワークや本の物流を含めたスムーズな運営のための協力を行う。

#### <実績>

- ・阪之上小学校や新潟大学附属長岡小学校との協力展示の際には、教科に関わる絵本や児童書を全館から資料提供を行った。絵本や児童書を児童の感想文と合わせて展示することで、より利用者の関心を引いた。
- ・栃尾美術館での松岡達英展の際には、中央図書館から絵本を貸出することで、充実したテーマ展示を行い、貸出にも結び付けた。



▲阪之上小学校3年生 平和ブックコーナー



▲新潟大学附属長岡小学校4年生 最高の一文コーナー

### <課題・今後の方針>

- ・互尊文庫は4万冊という少ない蔵書数であり、児童書の所蔵冊数が限られているため、テーマによってはボリュームのある展示ができないケースが今後も発生する。見通しを持って連携し、互尊文庫での本との出会いがより充実するように協力したい。

## 6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。

### (1) 重点事業の事業別評価について

#### ①利用者アンケートの実施

事業概要	・毎年夏期にアンケートを実施し、利用者のニーズを把握することにより、運営に役立てる。	
評価	A	評価理由
		・昨年度の約2倍のアンケート回答があったことから、利用者のニーズを把握し、活かすよう努めた。

#### ②友の会事業

事業概要	・利用者が集い、読み聞かせや書架整理などの様々な活動を通じて、図書館を支援いただく。	
評価	A	評価理由
		・図書館視察研修を行ったほか、映画会を2回行い、事務局も適切な支援を行った。

### (2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・概ね順調な業務・活動を行っており、寄せられた意見に対応した。

### (3) 個別事業の実施結果について

#### ① 利用者アンケートの実施

＜目的・概要＞	
<p>・例年どおり実施し、昨年度との比較や現状の利用者の意見を把握する。</p>	
<p style="text-align: center;">【中央図書館】</p> <p>＜利用者アンケート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 窓口の対応について</li> <li>○ セルフ貸出機について</li> <li>○ スマホ貸出カードについて</li> <li>○ 電子書籍の導入について</li> <li>○ 貸出・予約点数の上限について</li> <li>○ 希望するサービスについて など</li> </ul>	<p style="text-align: center;">【地域図書館】</p> <p>＜利用者満足度アンケート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スタッフについて 挨拶や言葉づかい、接客対応など(3項目)</li> <li>○ 施設の快適さについて 設備、分かりやすさ、案内情報(4項目)</li> <li>○ 図書館サービスについて 資料の充実、展示物などについて(5項目)</li> </ul>
＜実績＞	
<p>○中央図書館のアンケート（窓口：8月14日～25日、ホームページ：8月14日～9月1日）</p> <p>窓口では、平日のみ貸出しカウンターで配布したため、回収枚数が上昇した。窓口対応については、「大変よい」＋「よい」が83.6%と昨年度の83.1%に比べて評価が微増した。</p> <p>（今年度実績） 紙用紙：520件 Web：164件</p> <p>（昨年度実績） 紙用紙：260件 Web：126件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口対応については毎年意見にあるため、一層注意を払うよう心がける。</li> <li>・セルフ貸出機・スマホ貸出カードの利用率は約50%。今後さらなる周知を図る。</li> </ul> <p>○地域図書館のアンケート（7月27日～8月12日）</p> <p>（今年度実績） 配布数：1,092件 回収数：748件 回収率：68.5%</p> <p>（昨年度実績） 配布・回収数 1,299件・・・地域館6館合計数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は配布数をカウントし、回収率を算出した。配布するとその場でご記入いただき、回収率が高い館もあるが、館によって回収率に差がある。</li> <li>・スタッフ対応については良い評価をいただいているが、利用者への気配りや柔軟な対応ができるよう引き続きレベルアップを図る。</li> <li>・毎年のことだが、要望として資料の充実に関するものが多く寄せられた。</li> </ul>	
＜課題・今後の方針＞	
<p>【中央図書館】</p> <p>図書館システム・ホームページへの要望が多くあった。更新の際に改善に向けて取り組む。</p> <p>【地域図書館】</p> <p>分かりやすい案内ができるよう、引き続き表示の見直しを行う。</p>	

## ② 友の会事業

### <目的・概要>

- ・図書館支援団体として、図書館と連携し、活動を運営に生かす。

### 令和6年度 友の会行事

#### ○視察研修

10月25日(金) 午前9時50分～午後3時30分

友の会会員参加者：15人

弥彦村図書館「らいわ弥彦」、三条市立図書館「図書館等複合施設まちやま」を見学した。



▲「らいわ弥彦」での施設見学の様子

#### ○友の会映画会

10月11日(金) 午前10時～正午

来館者：18人

友の会会長：野上純嗣氏監督・製作作品『天地に恋えたい。平成一六年新潟県中越地震2004-2024』を上映した。

2月14日(金) 午前10時～正午

来館者：16人

友の会会長：野上純嗣氏監督・製作作品『カリフラワーにほだされて 戦火 1945-2025』を上映した。

### <実績>

- ・図書館活動の応援につながる取組として、活動を継続していきたい。

(今年度実績)

総会、視察研修、友の会映画会、書架整理、布絵本の会、つぐみの会 など

個人会員：27人 賛助会員：3口

(昨年度実績)

総会、視察研修、館内見学及びスマートフォンの使い方講座、友の会映画会、中央図書館にあつまれ！冬のお楽しみ会、書架整理、布絵本の会、つぐみの会 など

個人会員：35人 賛助会員：3口

### <課題・今後の方針>

- ・会員が主体となった企画・運営の取組みへの支援を行い、魅力的な図書館サービス・イベントを行うことで、幅広い世代の新規会員の加入促進につなげたい。

7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 外部研修・遠隔研修

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立図書館主催の研修等に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員としてのスキルアップを目指す。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に参加し、情報の共有を図り、職員のスキルアップを図った。</li> <li>オンライン研修を利用することで、昨年度に比べ様々な研修に参加することができ、職員全体のスキルアップを図ることができた。</li> </ul>

② 職場内研修

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体での研修会を行い、職員全体の資質の向上を図る。</li> </ul>	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館では、職員全体のスキルアップといつでも迅速で均一なサービス提供ができるよう、係内研修2回と少人数でマイクロフィルムとデータベースの取扱い研修を行った。</li> <li>地域図書館では、歴史文書館を訪問し、図書館利用者に施設利用をつなげられるよう知識を深めた。また、外部講師を招いて傾聴研修を行い(1月31日)、ビジネスコミュニケーションの向上を図り、お客様対応へのスキルアップを図った。</li> </ul>

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修・職場内研修ともに予定どおり実施し、成果を上げることができた。</li> </ul>

### (3) 個別事業の実施結果について

#### ① 外部研修・遠隔研修

＜目的・概要＞		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県立図書館などが主催する研修に職員を参加させ、また、研修で取得したことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップを目指す。</li> <li>・地域図書館では、県立図書館主催の外部研修に今年度もできる限り参加し、各館内で情報を共有する。</li> </ul>		
＜参加研修＞		
<ul style="list-style-type: none"> <li>*①視覚障害者サービス研修（第1回） 5月23日（中央館8人、地域館5人）</li> <li>②新潟県公共図書館新任職員研修会 5月30・31日（中央館3人）</li> <li>*③多言語対応絵本試験実施報告会 7月5日（中央館2人、地域館1人）</li> <li>*④関東地区公共図書館協議会研究発表大会 7月11日・12日（中央館2人）</li> <li>*⑤新潟県公共図書館児童部門研究集会 7月19日（中央館2人、地域館3人）</li> <li>*⑥子ども読書レベルアップ研修「理論・知識編」 7月29日（中央館1人、地域館1人）</li> <li>⑦郷土レファレンス研修 8月8日（中央館3人）</li> <li>*⑧読書のバリアフリーをすすめるために 8月15日（中央館7人）</li> <li>*⑨子ども読書レベルアップ研修「実践・演習編」 8月20日（中央館3人、地域館1人）</li> <li>⑩読書活動推進研修会 9月2日（中央館3人）</li> <li>*⑪公共図書館の目指す価値と蔵書構成の実際 9月19日（中央館2人）</li> <li>*⑫新潟県公共図書館中堅職員研修会 10月17日（中央館1人、地域館1人）</li> <li>*⑬国際子ども図書館児童文学連続講座 10月28・29日（地域館5人部分受講）</li> <li>*⑭新潟県公共図書館総合部門研究集会 10月31日（中央館3人）</li> <li>*⑮メディア研修会「デジタル時代の肖像権と著作権」 11月6日（中央館1人、地域館1人）</li> <li>*⑯医療情報研修「図書館でのより良い医療情報提供のあり方を考える」 11月20日・23日（中央館6人）</li> <li>*⑰国立国会図書館リファレンス研修「経済社会情勢の調べ方」 12月5日（中央館2人）</li> <li>⑱国立大学図書館協会関東甲信越地区協会研修会 12月12日（中央館3人）</li> <li>*⑲全国図書館大会 12月20日・24日・26日・27日（中央館9人）</li> <li>*⑳視覚障害者サービス研修（第2回） 1月29日（中央館6人）</li> <li>*㉑国立国会図書館リファレンス研修「法令・議会・官庁資料の調べ方」 2月14日（中央館2人）</li> <li>*㉒視覚障害者サービス研修（第3回） 2月19日（中央館8人、地域館1人）</li> <li>㉓新潟県公共図書館職員専門研修会 2月28日（予定）（中央館2人）</li> <li>*㉔ブックスタート全国研修会 3月（予定）（中央館2人）</li> <li>*㉕国際子ども図書館児童文学連続講座 3月（予定）（中央館10人）</li> <li>㉖学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム公開シンポジウム 3月（予定）（中央館2人）</li> </ul> <p>*はオンライン研修</p>		
＜実績＞		
（今年度実績）	中央図書館：93人参加（予定）	地域図書館：19人参加
（昨年度実績）	中央図書館：27人参加	地域図書館：10人参加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館では、オンライン研修へ積極的に参加し、先進地の事例や最新の機器、サービスの動向情報を得ることができた。部門会議等で情報共有し、今後の業務に活かしたい。</li> <li>・地域図書館では、オンライン研修へ積極的に参加した。勤務人数の関係で参加することが難しい館には参加者が情報を共有した。</li> </ul>		

## <課題・今後の方針>

### ○中央図書館

外部研修の成果（情報）を職員間で共有し、業務改善に取り組み、長岡市の事業としてどう反映させるか検討していく必要がある。

### ○地域図書館

県立図書館主催の外部研修には今後も継続して参加していきたい。勤務人数の都合上、全館平等に参加することが難しいが、各館でもオンライン研修に参加しやすい環境を整え、希望する研修が受講できる回数を増やしていきたい。

## ② 職場内研修

### <目的・概要>

- ・ 係内研修を行ったり、外部研修に派遣された職員が講師となり研修報告会を行うことで、職員の資質や専門性向上・情報共有を図る。
- ・ 各種研修に当館職員を講師として派遣する。
- ・ 地域図書館ではスタッフの能力育成のため、図書館員としての知識やスキルを向上させる地域館合同研修を行っている。また、研修の機会を増やすためにオンライン研修を取り入れる。

### <研修内容>

#### ○中央図書館

- ①学校図書館協議会研修 7月16日（講師1人派遣）
- ②人権配慮にかかわる取扱注意資料研修会 1月22日・23日・24日（40人参加）
- ③マイクロフィルム・データベース取扱い研修 1月28日・29日・30日（14人参加）
- ④著作権実務講習会 1月28日・30日（24人参加）

#### ○地域図書館

- ①SNS研修 4月30日（6人参加）
- ②長岡全体研修① 5月31日（32人参加）  
歴史文書館視察研修 講義「施設利用と実践」（講師：歴史文書館長）
- ③TRCステップアップB研修 6月27日（1人参加）
- ④新潟県立図書館訪問研修（郷土に関するレファレンス）10月31日（12人参加）
- ⑤MARC検索セミナー 12月5日（5人参加）
- ⑥長岡全体研修② 1月31日（32人参加）  
ビジネスコミュニケーション研修～傾聴力を身につける（講師：菊野麻子氏）  
ボードゲーム研修について（講師：見附ボードゲーム会）
- ⑦TRCステップアップA研修 1月24日（2人参加）
- ⑧TRCステップアップB研修 1月27日（1人参加）
- ⑨個人情報保護研修（32人参加）

### <実績>

(今年度実績) 中央図書館：4回実施 地域図書館：9回実施

(昨年度実績) 中央図書館：4回実施 地域図書館：7回実施

- 中央図書館では、人権配慮にかかわる取扱注意資料研修や昨年法律が改正された著作権についての研修会を行った。
- 地域図書館では、ビジネスコミュニケーションの向上を図り、お客様対応へのスキルアップの傾聴研修を行った。各館で行っていたボードゲームについて、今後、地域館全館で取り組む事業として行うボードゲームへの取り組みについて考える研修を行った。

### <課題・今後の方針>

- 中央図書館では、図書館事業をより充実させるため、サービス向上につながる研修を継続して行いたい。オンライン研修を取り入れ、より多くの職員のスキルアップを図りたい。
- 地域図書館では、お客様により沿った対応ができるよう、サービス向上につながる研修を行ってきたい。